

### 第3回学校運営協議会 議事要旨

- 1 会議名 岐阜県立土岐紅陵高等学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 平成31年2月15日 (金) 13:30~15:00
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校会議室
- 4 参加者 委 員 土本 泰 至学館大学 (会長)  
林 寛 土岐市まちづくり推進課長 (副会長)  
飯田 明子 下石小学校附属幼稚園長  
伊藤 啓二 下石町区長会会長  
伊藤 策雄 土岐市立西陵中学校長  
加藤 千洋 土岐市社会福祉協議会  
木下さおり 下石小学校PTA母親委員長  
林 孝宏 土岐紅陵高等学校PTA副会長  
  
学 校 側 小野 悟 校長  
今井 直弘 教頭  
加藤 健二 教務主任  
河村 拓士 生徒指導主事  
高田 昌史 進路指導主事  
松浦 隆秋 総合学科主任

※ 佐々木啓子 委員 (土岐商工会議所事務局長) 及び 古川 直利 委員 (土岐市立下石小学校長) は所用のため今回は欠席

#### 5 会議の概要 (協議事項)

##### (1) 基調アンケートについて

- 基調アンケートの結果概要と学校による分析について、学校より説明
- 委員から出された主な意見は以下の通り
  - ・「地域と連携・協働した活動」に期待する意見はそれ程高くないが、これを目的としてとらえるのではなく、期待度の高い「コミュニケーション能力を高めるための機会」、「進路や生き方を考えさせる機会」と考えることが大切ではないか。
  - ・「地元の産業や文化への理解を深める指導」、「災害時に対応する力や安全意識を高める指導」、「地域と連携・協働した活動」への期待度が低いところからも、保護者がより進路に直結した学業に期待していることがわかるが、地域の維持・発展のためには、こうしたことは重要なことであり、重要性をどのように理解していただくかも課題である。

##### (2) 今年度の評価について

- 生徒及び保護者を対象とするアンケート結果の概要と分析について説明した後、自校評価について学校より説明
- 委員から出された主な意見は以下の通り
  - ・「本校に入学して良かったと思っている」と回答した生徒が93%に達したことは、学校がやるべきことをしっかりやっていることで、生徒が安心して学んでいること、生徒と教員

の信頼関係が構築されていることの現れである。

- ・一方で保護者を対象としたアンケートにおいて、肯定的な回答の割合がそれ程高くなく、「わからない」の割合が高くない点については、保護者に対する情報提供が十分でないことの現れであり、改善が必要である。今年度新たに設置した広報情報部を中心に検討・実施をすると良い。
- ・先日、参観させていただいた課題解決学習発表会は本当に良かった。地域の方や保護者に見ていただければ、学校への理解や信頼感を高める良い機会になる。来年度は、保護者や地域の方にもっと見ていただくようにする工夫をすると良い。
- ・本来肯定的な評価が100%にならない「体罰の防止に努めている」や「いじめや差別を許さず厳しく対応している」の設問について、肯定的な評価が100%に達していないことについては、学校として重く受け止め、これを100%に近づけることができるよういっそうの努力が必要である。

### (3) 次年度の学校運営の基本方針の検討

○ 委員から出された主な意見は以下の通り

- ・職員が生徒と十分にコミュニケーションをとることが今後ますます重要になってくることを考え、そうした内容も明記したらどうか。
- ・学校運営の基本方針を冊子やホームページに掲載するだけでなく、生徒や保護者に見せることも大切であり、そうした機会も設けると良い。

### (4) 自由討議

○ 委員から出された主な意見は以下の通り

- ・我々委員が、まずは生徒の顔を見ることも大切であり、朝の挨拶運動の実施などについても今後検討していきたい。
- 学校からのお願い
  - ・「地域の課題や特徴を理解し、それに基づいて地域課題の解決に取り組む学習」を、これから始めていくのにあたり、「講師」や「訪問先」について、今後、推薦をお願いするので協力をお願いしたい。